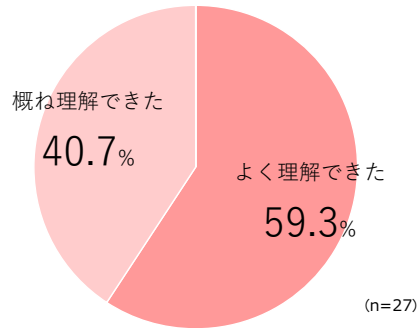


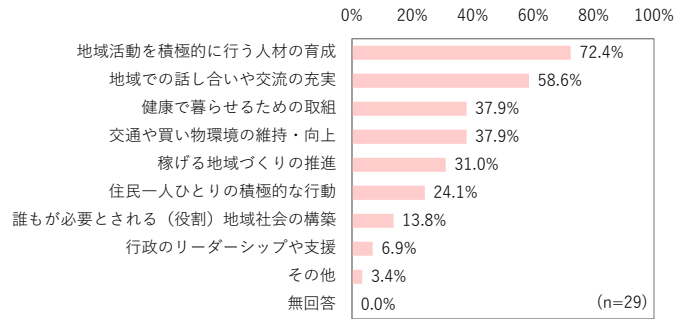
WS参加者アンケートの結果

Q バイパスの整備計画の説明について、理解できましたか。

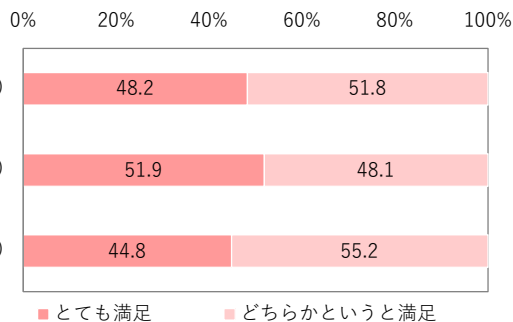


※「理解できなかったところがある」、「よくわからなかった」という回答はありませんでした。

Q 今後の持続可能なまちづくりを推進するにあたって、大切だと思うもの3つまで○印をつけてください。



Q WS参加への満足度



※「どちらかという不満」、「不満」という回答はありませんでした。

●主な自由意見

- 増えていく老人が活躍できる場を設けたい。
- 今まで、なんでも行政だよりだった。変えていきたい。
- もっと話し合う機会を作りたい。
- 若い世代が参加しやすいテーマも必要。
- 色々な人の意見が聞けて、とても勉強になりました。

今後の取り組みについて



最後に四つ葉振興会の吉岡会長から、2回のワークショップを通じて、たくさんの有意義な提案に対する謝辞を述べられたとともに、バイパスが完成するまでの間にも、このような意見交換の機会をつくり、一緒になって、持続可能なまちづくりに向けての議論を重ね、今回出された意見が一つでも実現できるように取り組みたいと思っているので、協力をお願いする旨の発言がありました。

編集後記

今回、新しいバイパスの沿線や旧道沿線の利活用について、様々な意見が寄せられました。今回のワークショップは、住民が主体的に将来のまちづくりについて考えるきっかけになりました。今後とも住民と行政が情報を共有し、協働してまちづくり活動が展開され、「出会い、つながる、笑顔あふれる」まちを目指します。

■■■お問い合わせ先■■■

浜田市役所旭支所 産業建設課
TEL 0855-45-1437/FAX 0855-45-0135

島根県浜田県土整備事務所
土木工務部 土木工務第三課
TEL 0855-29-5654/FAX 0855-29-5691

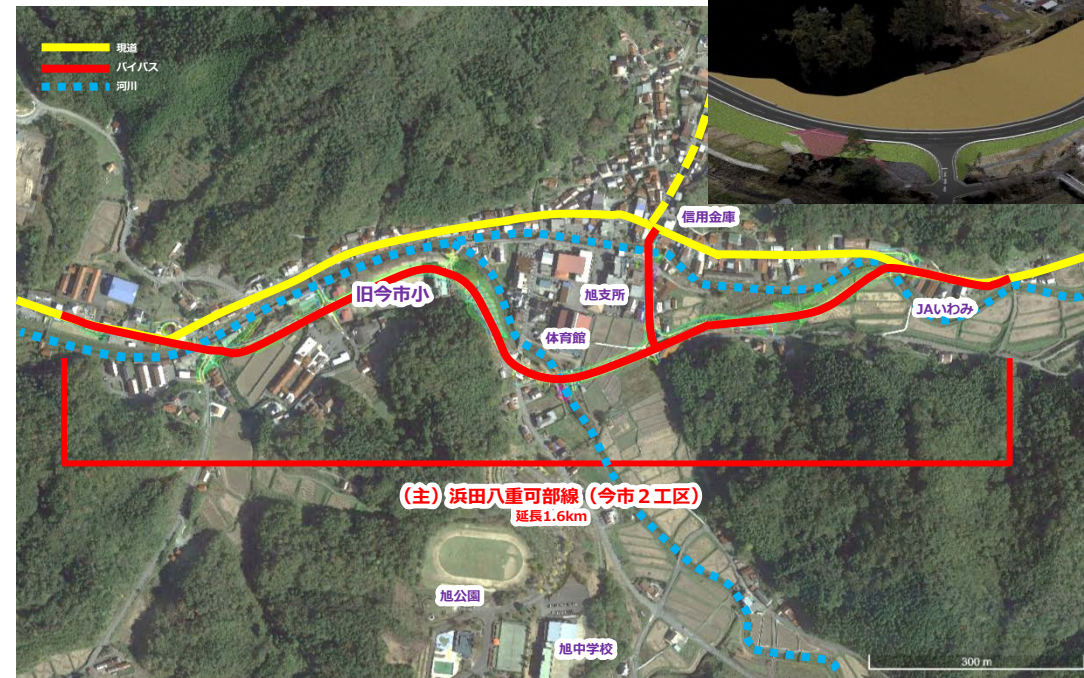
2020.03発行

浜田市旭町今市地区バイパス沿道まちづくりワークショップ

ワークショップニュース

島根県で事業を進める浜田八重可部線（今市2工区）のバイパス整備に伴い、新しいバイパス沿道のまちづくりや道路空間の整備、旧道沿線の活用等について、住民の皆さんと一緒に考えるワークショップを開催しました。

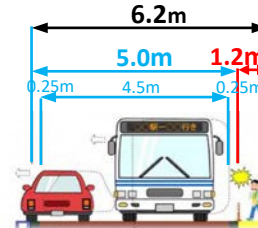
	第1回	第2回
開催日	令和2年1月22日（水）	令和2年2月12日（水）
主催	浜田市役所旭支所	
参加者	地域住民（四つ葉振興会ほか）	
	46人	39人
テーマ	沿道地域（特に旧小学校跡地）及び道路空間の活用	旧道及びその沿道のまちづくり



▲整備イメージ図（旧今市小周辺）

◀バイパス整備全体像

現在の道路



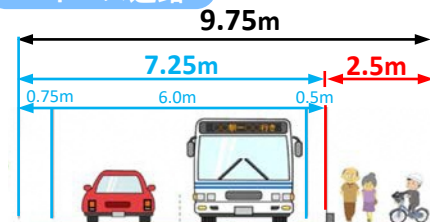
道路幅員：6.2m

- 車道：5.0m
…大型車両とのすれ違いが困難
- 歩道：1.2m
…狭く、車両との距離も近い



現況

バイパス道路



道路幅員：9.75m

- 車道：7.25m
…センターラインの設置
…スムーズな走行が可能に
- 歩道：2.5m
…車道と歩道は緑石で分離される
…並んで歩ける幅広の歩道



整備イメージ図

第1回の成果

これまでの検討を踏まえたまちのあるべき姿を念頭に置きつつ、沿道のまちづくり（特に旧今市小学校跡地）や新しい道路整備などに対して意見交換を行いました。

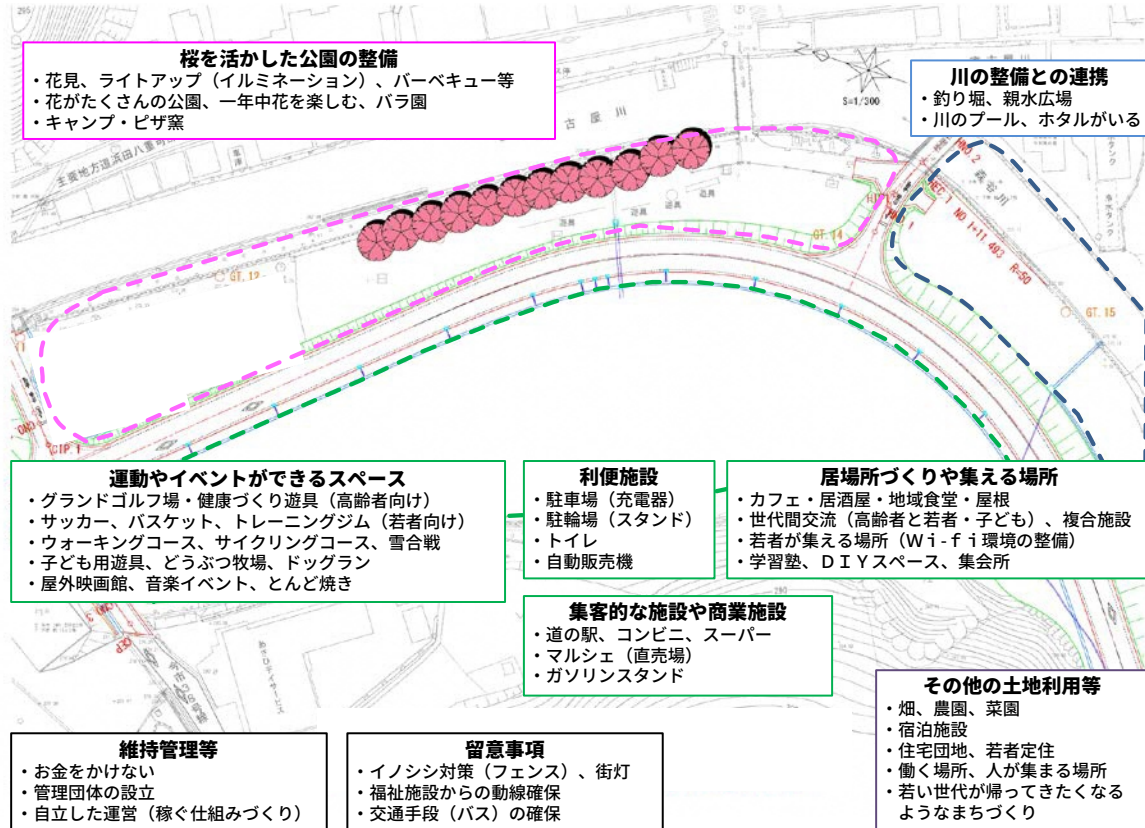
■ 中学生の協調学習の成果発表

旭中学校で実施した協調学習の成果をワークショップの場で発表しました。協調学習では、多様な年代の方が旧小学校跡地にどんな機能を求めているかを話し合い、活用方を提案しました。



■ 旧今市小学校跡地の活用

ワークショップでは旧今市小学校跡地の利活用についてテーブルごとに意見を出し合いました。運動などのイベントスペースや地域住民の居場所づくり、生活に便利な商業施設といったアイデアが出されました。



■ その他の沿道地域

その他の沿道地域では、沿線にある耕作放棄地をレンタル農園、観光農園や住宅地にするほか、加工品販売所としての活用などの提案がありました。また、旧道沿線にはブックカフェやアトリエ、スナックなどの娯楽施設整備のアイデアがありました。



第2回の成果

第2回では、車交通がバイパスに転換されたあとの旧道（現在の道路）の整備や沿道のまちづくりについて意見交換を行いました。

■ 旧道の整備

歩行者が優先の通り（できるだけ歩道は広く）

旧道は歩行者が優先の通りを目指すことで全グループが一致。生活道路としての機能を維持しつつ、小中学生やお年寄りが安全に通行できるような道づくりが必要。

安全・安心な道へ

- 歩道はできるだけ広く**
 - 通学路の歩道幅確保
 - できるだけ歩道を広く
 - 車道は4mは必要とする意見と3mでもよいという意見があった
 - 子どもが自由に歩ける道
 - 安全な歩道、片側確保（2.5m）←これが大事
 - 高齢者の安心散歩
- 車が通りにくい仕掛けづくり**
 - スピードが出せない道路の工夫（凹凸をつける）
 - ☑車道のスラローム化
 - 歩車共存道路
 - 横断歩道に段差をつける
 - 横断歩道の前後に狭さく部、離合場所の設置
 - 和田方面へ通り抜けにならないような工夫

もっと快適な道路にするために

- サイクリングロード（自転車も安全に走れるように）
- ウォーキングコース
- 歩道沿いに花
- それだけでインスタ映える
 - 道路カラーにならないか？（視覚的な物）
 - ブロック舗装、インターロッキングカラー舗装
 - 歩車道境界部にポールを
 - 歩車道境界部には緑石はない方がよい
 - 生活者メインの道路として、差別化を図る
 - 除雪水路の蓋を細目に。老人車を押しやすいように

雪対策が重要

- 除雪がしやすい道路に
 - （ポールがあると除雪がしにくいかも）
- 雪の処理が大変、除雪できる水路を確保

交通規制も検討

- 大型車両の通行規制
- 通学道路を時間て一方通行に
- 生活道路として一方通行は困る



旧道沿線（旭支所前）

■ 旧道沿線のまちづくり

人が集まれる場づくり

旧道が歩行者優先の道路となることで、より一層イベントなどへの利用が期待されるとともに、沿道には地域内の交流の場や住民の居場所が創出されることを期待。

地域内の交流

- シェアスペース
- 今市セントラルパーク
- 歩いていってちょっと座ってお話ができるベンチ
- DIVスペース
- 女子会の出来るカフェ、子育て世代の集えるカフェ
- 子どもとお年寄りが集える場
- 本屋さんを残したい、ブックカフェ
- 加工施設、直売場
- 居酒屋・食堂
- 美術館、空き家ギャラリー
- 認知症カフェ
- 雪遊びができる広場
- 駐車場

歴史・文化

- 歴史的な物や場所を紹介したり、説明したりする看板
- 参勤道
- 満福寺

災害対策

- 落石対策
- 積雪対策カラーポール（部分的に）
- 街灯を整備して道を明るくする

イベント

- お花見ができるようにする
- インスタ映えるスペースをつくる
- イルミネーションをする
- 定期的な歩行者天国にしてイベント
- 仮装行列を旧道で（イベント）
- ハロウィンイベント（現在開催）
- 土曜夜市、フリマイベント

空き家の活用

- 空き家の活用
- 空き家、空き店舗の貸し出し、開放など
- 空き地を雪のたまり場に

家古屋川の活用

- 川の景観、市子桜の景観
- 川に降りる大きな階段
- 魚の釣り場所
- 川の中ウォーキング
- 川遊びをして着替える場所

歩行者に配慮した道路整備イメージ



例：雲南市木次町



例：浜田市

人が集まれる場のイメージ



例：安来市 一風亭



例：雲南市 三日市ラボ

